



小雀公園 里山通信



Vol.23 虫はどこへいったやら



寒い朝は霜や氷を目にするようになりました。数年前は霜もあまり降りない暖冬だったのに、ここ2～3年はラニーニャ現象の影響で、とつても寒さが厳しい冬となっています。暖冬のほうが体はラクですし、冬は冬らしくしっかり寒くなったほうが環境的にはいいのかなと思います。やっぱりつらいですよ…。

小雀公園ではこの時期になると、生き物の保護のため夏の間は草刈をしなかったスギ林やため池周り、ヨシ原なども草刈りを行い、見通しが良くなります。ヨシ原も上流と下流とで時期をずらしてヨシ刈りを行いました。ヨシ刈りが全面終わると、今年の大仕事は終わったなと一安心します。



刈取後のヨシ原でエサを探すアオサギ



凍てつく落ち葉の下に虫がいるかも…

夏に草刈をするとバッタやコオロギがわらわらと大慌てで逃げていき、ゴメンネ～！と申し訳なくと思いますが、秋も終わりに近づくと虫の気配はあまり感じられなくなります。大部分の虫たちは寒くなる前に卵を産んで死んでしまうためです。成虫の姿で越冬する虫は、落ち葉の下などで越冬するテントウムシが良く知られていますが、意外にもキタテハやルリタテハなどの蝶や、ツチイナゴというバッタなど、成虫で越冬する虫が色々います。そのため冬になっても生きている虫たちのために、草を刈らずに残している場所もあちこちにあります。春のきざ

しが見え始めたところに枯れ草を刈りますので、それまではあの枯草の中にもなにか生き物がいるのかなと思ひめぐらせて楽しんでください。

さて、小雀公園は12月29日から1月3日まで公園職員が不在となります。その間は警備会社が公園の見回りをし、レストハウス付属のトイレを開放しますのでご利用可能です。遊具広場のトイレは終日施錠されていますのでご了承ください。

それではみなさま、楽しい年末年始をお過ごしください！



枯草色にカムフラージュするツチイナゴ



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

